

■直轄国道の変遷

国道11号(徳島市～松山市)

区間	明治18年(1885)	大正9年(1920)	昭和27年(1952)	昭和40年(1965)
徳島～鳴門	国道30号線	国道21号線	一級国道11号	一般国道11号
鳴門～高松	—	国道22号線		
高松～善通寺	—	国道23号線		
善通寺～松山	国道31号線	国道24号線		

国道28号(神戸市～徳島市)

区間	明治18年(1885)	大正9年(1920)	昭和27年(1952)	昭和40年(1965)
全区間	国道30号線	国道21号線	一級国道28号	一般国道28号

国道30号(岡山市～高松市)

区間	明治18年(1885)	明治22年(1889)	大正9年(1920)	昭和27年(1952)	昭和40年(1965)
丸亀～松山方面	国道31号線	国道31号線	国道24号線	一級国道30号	一般国道30号
丸亀～高知方面	国道32号線	国道32号線	国道23号線		
丸亀～高松方面	—	国道50号線	国道22号線		

国道32号(高松市～高知市)

区間	明治18年(1885)	大正9年(1920)	昭和27年(1952)	昭和40年(1965)
全区間	国道32号線	国道23号線	一級国道32号	一般国道32号

(注)1.明治18年の国道32号線の区間は東京～岡山～丸亀～高知であったが、大正9年の国道23号線では高松～高知の路線となった。

2.昭和45年に県道高松琴平線が国道32号に昇格し、高松～琴平の区間がルート変更となった。

国道33号(高知市～松山市)

区間	大正9年(1920)	昭和20年(1945)	昭和27年(1952)	昭和40年(1965)
全区間	県道松山高知線	国道23号線	一級国道33号	一般国道33号

国道55号(徳島市～高知市)

区間	昭和28年	昭和37年(1962)	昭和40年(1965)
全区間	二級国道194号 高知徳島線	一級国道55号	一般国道55号

国道56号(高知市～松山市)

区間	昭和28年	昭和38年(1963)	昭和40年(1965)
全区間	二級国道197号 松山高知線	一級国道56号	一般国道56号

国道192号(西条市～徳島市)

区間	大正9年(1920)	昭和28年(1953)	昭和40年(1965)
川之江～池田	県道川之江池田線	二級国道192号	一般国道192号
池田～徳島	県道徳島池田線	西条徳島線	

(注)大正9年の区間は川之江～徳島であったが、昭和28年に西条～徳島となった。

国道194号(高知市～西条市)

区間	昭和38年(1963)	昭和40年(1965)
全区間	二級国道194号 高知西条線	一般国道194号

国道196号(松山市～西条市)

区間	大正9年(1920)	昭和28年(1953)	昭和40年(1965)
松山～今治	県道松山今治線	二級国道196号 松山小松線	一般国道196号
今治～壬生川	県道今治壬生川線		
壬生川～小松	県道小松壬生川線		

国道197号(高知市～大分市)

区間	昭和38年(1963)	昭和40年(1965)	昭和45年(1970)
全区間	二級国道197号 大分大洲線	一般国道197号	一般国道197号

(注)昭和38年及び昭和40年の区間は大分～大洲であったが、昭和45年に須崎～大洲が追加されて高知～大分となった。

国道317号(松山市～尾道市)

区間	昭和33年(1958)	昭和45年(1970)	昭和57年(1982)
今治～尾道	—	一般国道317号	一般国道317号
松山～今治	主要地方道松山今治線	主要地方道松山今治線	

(注)昭和45年に主要地方道松山今治線が国道317号に昇格した。

国道319号(坂出市～四国中央市)

区間	昭和28年(1953)	昭和45年(1970)	平成5年(1993)
坂出～琴平	一級国道32号	一般国道319号	一般国道319号
琴平～山城	一級国道32号	一級国道32号	
山城～伊予三島	県道新居浜山城線 ほか	県道新居浜山城線 ほか	

(注)1昭和45年に坂出～琴平が国道32号から国道319号に路線変更となった。

2.昭和45年の区間は坂出～琴平であったが、平成5年に山城～伊予三島の区間を編入した。

国道440号(松山市～梶原町)

区間	昭和31年(1956)	昭和46年(1971)	昭和47年(1972)	昭和57年(1982)
全区間	県道地芳峠落出線	主要地方道梶原落出線	県道梶原落出線	一般国道440号

(注)昭和57年に県道梶原落出線が国道440号に昇格した。